



第60回東北連合小学校長会研究協議会宮城大会

第43回 宮城県小学校長会研究協議会

第43回 仙台市小学校長会研究協議会

ご 案 内

早春の候、会員の皆様にはご清栄にて、鋭意学校経営に取り組んでおられることと存じます。

さて、第60回東北連合小学校長会研究協議会宮城大会につきましては、令和元年12月発行の会報第151号でご案内いたしましたように、仙台市を会場として開催いたします。秋田大会の成果を踏まえ、東北の小学校教育がより一層充実・発展することを期して準備を進めております。

つきましては、会員各位の多数のご参加をいただきたくご案内申し上げます。

1 大会主題

「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く
日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

2 副 主 題 「夢と希望をもち 共に新しい未来を切り拓く子どもを育てる学校経営」

3 大会趣旨

東北連合小学校長会は、平成25年度から研究主題を「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、「東北は一つ」を合い言葉に、明確な理念に基づき、地域住民の信託に応えるべく、地域に根ざした創意と協働による特色ある研究を組織的・実践的に積み重ね、多くの成果をあげてきた。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故は、東北地方に甚大な被害をもたらし、10年目となった現在でも復興が道半ばの地域が残されている。しかし、我々は震災から復興に向かう中で「絆」の重要性に気づき、自他が互いを尊重し合い、助け合いながら困難を乗り越えることの大切さを多くの経験から学んできた。「東北は一つ」、互いの絆をさらに強めながら、震災の教訓を忘れることなく、これからも未来に向かって協働しながらたくましく未来を切り拓いていかなければならない。

21世紀は知識基盤社会であり、情報化やグローバル化が急速に進み、とりわけ人工知能（AI）を活用した飛躍的な技術革新は、便利な生活をもたらす一方で、今後の生活の在り方を大きく変え、将来を見通すことができます。また、少子高齢化が進み、家庭・地域社会における関わりや地域コミュニティのつながりが薄れ、子どもを取り巻く環境は著しく変化し続け、先行き不透明な時代を迎えている。このような状況の中、自らの意志を持ち多様な価値観を持つ人々と協働し、共に考え主体的に社会に参画し地域社会に貢献する人材の育成が求められている。

現在の小学校においてはいじめ問題や不登校等の問題、情報モラルの欠如や規範意識の低下などさまざまな課題が山積している。また、令和2年度から全面実施となる新学習指導要領の導入による教育改革に対しても、見通しを持った戦略的な学校経営が求められる。

私たち校長は、こうした現状をしっかり受け止め、混沌とする社会の中でも、子どもたちが未来に夢と希望をもち、他者と共につながり合いながら、主体性を持って新たな社会を築いていこうとする「生きる力」を育てていかなければならない。そのためには、学校・家庭・地域社会における人間関係を大切にしながら、社会に開かれた教育課程の具現化を図り、学校と家庭・地域が一層の連携を深め協働して、未来の創り手となるために必要な資質や能力を子どもたちが獲得できるよう創意工夫を凝らして取り組んでいかなければならない。

以上のことを踏まえ、第60回東北連合小学校研究協議会宮城大会は、大会主題の理念をより一層推し進めることを目指し、副主題「夢と希望をもち 共に新しい未来を切り拓く子どもを育てる学校経営」とし、学校経営の責任者である校長の果たすべき指導の在り方について究明しようとするものである。

4 主 催 東北連合小学校長会

5 主 管 宮城県小学校長会 仙台市小学校長会

6 後 援 宮城県 宮城県教育委員会 仙台市 仙台市教育委員会 宮城県市町村教育委員会協議会
宮城県中学校長会 仙台市中学校長会 全国連合小学校長会

7 期 日 令和2年7月2日(木)～7月3日(金)

8 大会日程

【大会1日目】 7月2日(木) 仙台国際センター会議棟

8:30 9:00 11:00 12:40 13:20 14:30 16:20 16:40 16:50 17:30

受付	東北連小理事会 研修会	休憩・ 昼食	受付	開会行事・全体会	シンポジウム	閉会 行事	休憩	分科会 打合せ
会場準備 事務局・実行委員全体打合せ		係打合せ	分科会会場準備					

【大会2日目】 7月3日(金) 仙台国際センター展示棟

8:00 8:30 9:00 12:00

分科会 準備	受付	分科会 10会場
-----------	----	-------------

9 シンポジウム

シンポジウムでは、東日本大震災当時から困難を乗り越えながら復興に向けた取組を進めてきた3氏をお迎えし、復興への思いや未来を担う子供たちへの願いなどをお聞きします。3氏のお話から、震災の教訓を踏まえつつ、学校のリーダーとしての在り方や未来社会を担う子供たちの教育の在り方について思いを確かにし、心をつなにするシンポジウムにしていきたいと思えます。

◇ テーマ 「震災から復興、そして未来へ - 震災を忘れない -」

◇ シンポジスト

- ・NPO法人 森は海の恋人 理事長 畠山重篤氏
- ・南三陸ホテル観洋 女将 阿部憲子氏
- ・エフエム仙台 防災・減災プロデューサー 板橋恵子氏

◇ コーディネーター

- ・仙台市小学校長会 研究部長

10 会 場

【1日目】 全体会 仙台国際センター 会議棟 大ホール

【2日目】 分科会 仙台国際センター 展示棟 会議室・展示室

No.	分科会	会 場
1	経営, 組織・運営	展示棟 会議室 1
2	評価・改善	展示棟 会議室 2
3	知性・創造性	展示棟 会議室 3
4	豊かな人間性	展示棟 会議室 4
5	健やかな体	展示棟 展示室 1 - A
6	研究・研修	展示棟 展示室 1 - B
7	学校安全	展示棟 展示室 2 - A
8	危機対応	展示棟 展示室 2 - B
9	自立と社会性	展示棟 展示室 3 - A
10	連携・接続	展示棟 展示室 3 - B

11 分科会構成

分科会		研究課題	研究の視点		担当県
Ⅰ 学校経営	1 経営、組織・運営	目指す学校づくりと組織・運営の活性化	視点①	学校の課題を明確にした学校経営の推進	秋田県
			視点②	教職員の参画意識を高揚する活力ある組織・運営	宮城県(東部・石巻)
	2 評価・改善	教育活動の活性化を図る学校評価と学校運営の改善	視点①	教育の質の向上を目指した学校評価・運営の構築	福島県
			視点②	学校の活力を高める学校評価・教職員評価	宮城県(仙台市)
Ⅱ 教育課程	3 知性・創造性	知性・創造性を育む教育課程	視点①	知性・創造性を育む教育課程の編成	岩手県
			視点②	知性・創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善	宮城県(仙台市)
	4 豊かな人間性	豊かな人間関係を育む教育課程	視点①	他と共に、よりよく生きるための人権感覚の育成	山形県
			視点②	豊かな心を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善	宮城県(本吉)
	5 健やかな体	未来に夢を描き生きる力を育てる健康教育・環境教育	視点①	心身の健やかな成長を目指す教育課程の編成・実施・評価・改善(健康教育)	青森県
			視点②	体験を通して実践的な態度を育む教育課程の編成・実施・評価・改善(環境教育)	宮城県(北部)
Ⅲ 指導・育成	6 研究・研修	学校の教育力を高める研究・研修	視点①	実践的な指導力を高める校内研修体制の推進	秋田県
			視点②	将来への夢や展望, 参画意識を持たせる研修の推進と職員の育成	宮城県(仙台南)
Ⅳ 危機管理	7 学校安全	安全・安心な学ぶ環境づくり	視点①	自ら判断し行動できる子どもを育てる安全教育の推進	福島県
			視点②	地域等との連携・協力を図った意図的・計画的な取組の推進	宮城県(仙台北)
	8 危機対応	防災教育や自然災害への対応	視点①	自然災害の特性を理解し, 自ら判断し行動できる防災教育の推進	岩手県
			視点②	学校単独の取組や他校種, 地域との連携した防災対応の推進	宮城県(大河原)
Ⅴ 教育課題	9 自立と社会性	自立と社会参加を図る教育の推進	視点①	自立と社会参加を図る特別支援教育の推進	山形県
			視点②	未来への夢や志を育むキャリア教育の推進	宮城県(仙台市)
	10 連携・接続	家庭・地域・異校種等との連携・接続の推進	視点①	家庭・地域と連携し, 地域に貢献する学校づくりの推進	青森県
			視点②	幼保・小・中等との連携と円滑な接続のための組織的な取組の推進	宮城県(東部・登米)

12 参加・宿泊の手続き

(1) 大会申込について

① 大会参加費 4,500円

② 参加申込方法

参加者は「参加申込書兼宿泊申込書」に必要事項を記入し、令和2年4月20日(月)までに参加費を添えて、各地区(支部)取扱責任者に申し込んでください。

なお、各地区(支部)、および各県事務局におかれましては、別紙「宮城大会参加とりまとめ依頼書」により、事務手続きをしていただきますようお願い申し上げます。

(2) 宿泊の申込について

名鉄観光サービス(株)が取り扱います。別紙「ご宿泊プラン」の「1(2)お申込方法」によりお申し込み下さい。

13 参加上の留意点

- (1) 参加申込後の変更は、各県小学校長会事務局を通して宮城県小学校長会事務局に【FAX】にてご連絡ください。
- (2) 「大会要項」は、大会第1日目の全体会場受付で、県ごとに各地区(支部)取扱責任者にお渡しします。「大会集録」は、大会終了後に各地区(支部)取扱責任者様宛にお送りします。
- (3) 参加申込後に取消があっても、「参加費」は返金できません。但し、「大会要項」は各地区(支部)責任者にお持ち帰りいただきますので後日お受け取りください。
- (4) 仙台国際センター周辺には飲食店はありません。仙台駅周辺等の飲食店をご利用ください。
- (5) 会場周辺の駐車場は、極めて限られています。できるだけ公共交通機関(地下鉄等)をご利用ください。

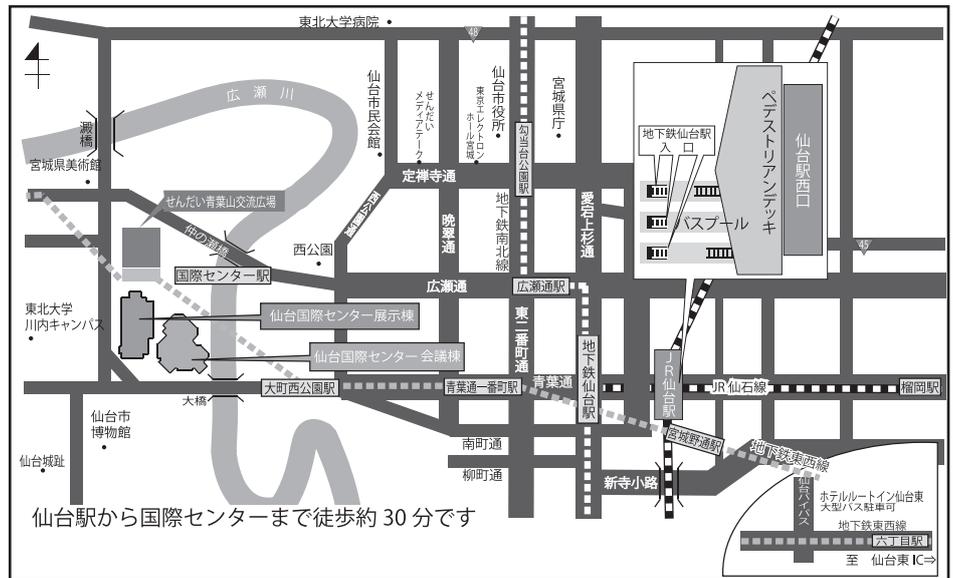
14 交通案内

仙台駅から地下鉄ホームへの行き方は様々なルートがあります。新幹線ホームは地上4階で地下鉄東西線ホームは地下3階です。駅構内の案内板をご覧ください。地下鉄ホームまでの道順の例をご紹介します。

◆仙台駅西口(2F)よりペDESTリアンデッキを經由して一階バスプールへ。バスプール前方の階段より地下へ降りると地下鉄仙台駅へ。

◆仙台駅構内地下1階に移動。地下鉄案内板に従って移動。地下鉄東西線ホームへ。

◆地下鉄東西線の「八木山動物公園」行きに乗り3つ目の「国際センター」で下車。南北線ではありません。



大会実行委員会事務局

〒982-0011 仙台市太白区長町七丁目23-1
長町南小学校内

事務局長 齋藤浩一

Tel 022-247-3335 Fax 022-247-3315

Mail jsminami@sendai-c.ed.jp



宮城県・仙台市小学校長会事務局

〒980-0822 仙台市青葉区立町8-1
仙台市立立町小学校内

事務局長 川村孝男

Tel 022-398-3924 Fax 022-398-3925

Mail miya86-sho.kocho@sepia.plala.jp